

copro

2023年3月期（第17期）

中間株主通信

2022年4月1日から2022年9月30日まで



代表取締役社長
清川 甲介

中期経営計画の実現を通して、次の成長ステージへ

中期経営計画で放つ二本の矢。2027年3月期の大きな飛躍に向け、当期を起点に新たな成長軌道を描いてまいります。

中期経営計画「コプロ・グループ Build the Future 2027」を策定

当社は2023年3月期から2027年3月期の5か年にわたる中期経営計画を2022年5月に発表しました。最終年度には連結売上高400億円、Non-GAAP営業利益*50億円を掲げ、飛躍的な成長を目指す計画です。業績目標達成の鍵は、技術者の成り手となる「人財」の確保が握っています。建設業界を始め各業界は技術者不足に悩まされています。その点では、今後も当社の人財サービスに対する需要がさらに高まることは間違いありません。半面、少子高齢化を背景に労働力人口の減少が続くことは確実であり、人財採用のハードルが高まることも目に見えています。我々は今まさに、中長期的な企業価値の向上を決定する分水嶺に立っていると考えています。

このリスクを機会として取り込むために、新しく策定した中期経営計画では、二本の矢を放ちます。1つ目は、営業と採用改革。人財ビジネスを営む当社にとって足腰にあたる基本部分の強化です。2つ目は、「エンジニア応援プラットフォーム」の構築です。未経験の方でも長く安定して志事に就き、キャリアアップを図りながら、同時に職場を選べる派遣という柔軟な働き方も享受できる。そういった新たな価値を技術者に提供できれば、沢山の優秀な人財がコプロに集うこととなり、ひいては顧客企業へ多くの人財を供給できる提供価値につながります。

*Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

上期を振り返って

当期は先行投資の一年と位置づけ、技術者の採用費を前期から倍増させ、採用強化にアクセルを踏んでいます。そのため、当期は増収減益の計画を組んでおりますが、当上期は攻めの費用投入が

奏功し、採用数が大幅に伸び、定着率の改善も相まって技術者数は順調に増加しています。この結果、売上高は予想比+6.5%の86億70百万円、Non-GAAP営業利益は予想比+43.6%の6億

13百万円と予想を上回って推移しました。

施策面では、営業改革の取り組みが順調に進捗しており、当上期には顧客企業からの取得案件数が前年同期に比べ約2.5倍にまで増加する成果を得られています。現在は、採用改革にもこの取り組みを水平展開しています。当上期においては、当初の目論見通り、採用数拡大の目的は果たせてい

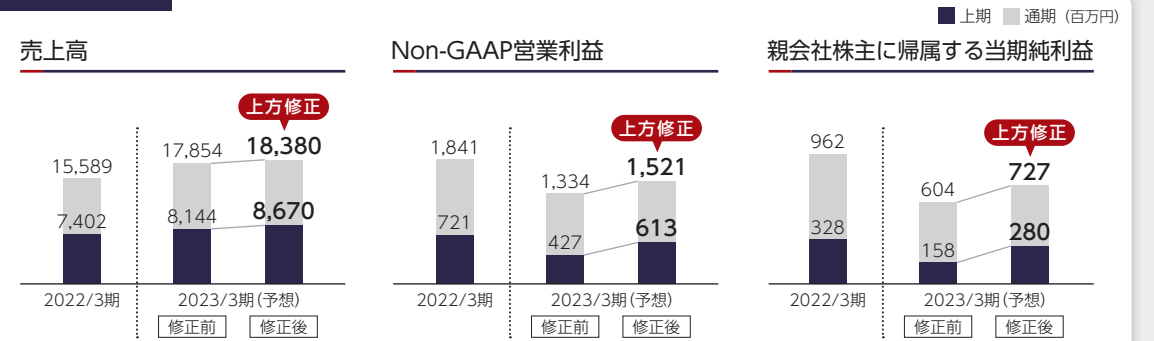
るものの、採用率が低下するなど、強化すべき点がまだまだあるというのが現状です。下期にかけて、採用改革をさらに追求していく考えです。また、「エンジニア応援プラットフォーム」については、只今制度設計を進めておりますので、準備ができましたら、皆様にご報告申し上げます。

通期計画の達成、そして来期に向けて

先にもお伝えした通り、当期は先行投資として採用費を積極投入することにより、増収減益の予想です。株主様にはご心配をおかけしているかと思いますが、お陰様で上期は期初予想を上回って折り返すことができ、通期予想を上方修正

いたしました。下期も引き続きコスト意識を厳しく持ちながら、技術者数を積み上げ、来期過去最高の売上高・利益の達成に向けた発射台を築いてまいります。株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト



Top Message



「コプロ部：グループマスコット」

業界未経験、新卒の私たちは、「施工管理のプロ」として活躍しています

当社は建設業界経験者に加え、未経験者の中途採用や新卒採用に力を入れています。今回は未経験で未知の世界に飛び込み、成長を続ける2人の若手技術者を紹介します。

個性を武器に、建設現場の潤滑剤になる

男性社会のイメージが強い建設業界ですが、これまで私が配属された企業はすでに女性社員が活躍していたおかげで、自然に現場に馴染むことができました。

施工管理の志事は、派遣先企業や職人の方々と一緒に働くため、コミュニケーションが重要になります。私は人と話すことが好きで、前向きな性格もあり、同僚からは「少し無理な依頼だが、Sさんから話せば職人さんも快諾してもらえるのでお願いしたい」と頼りにしてもらっています。今後も施工が円滑に進むように、現場の仲間と信頼関係を築いていきたいです。

Point 当社の技術者は女性が約3割を占めています。

未経験で飛び込んだエンジニアの世界で、一生モノのスキルを身につける

施工管理は関わる人が多く、志事の範囲も広いので、自身の成長を実感できることもやりがいになっています。入社したばかりの頃にお世話になった職人の方と再会した際、「志事が板についてきたね」と褒めてもらったのは嬉しかったです。

私が今、課題に感じているのは専門知識の習得です。コプロの中期経営計画では、技術者のキャリア形成を支援する「エンジニア応援プラットフォーム」の構築を目指していると聞いています。実現されれば、現場の外でも成長できるため楽しみにしています。

大規模プロジェクトに携わるのは大手ゼネコン社員だけじゃない

コプロの魅力は大手企業での活躍機会が得られることです。大手ゼネコンT社に派遣され、もうすぐ5年が経ちます。現在の配属先は名古屋中心部にあるランドマークビルの建替え工事の現場です。このような大規模プロジェクトに携われるのは、コプロに入社したからこそです。

また、建設の知識を体系的に習得するため、国家資格の建築施工管理技士2級を2019年に取得しました。合格時には現場の方々がお祝いをしてくれるなど、雇用形態の垣根はなく、現場一丸となって働ける喜びを感じています。

Point 当社では工事案件を豊富に有する大手企業への配属を進めることで、技術者の定着率向上を図っています。

入社当時の不安な気持ちに寄り添ってくれた営業担当者

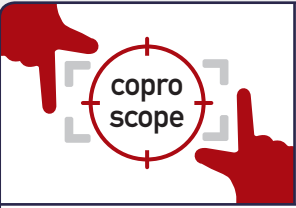
新卒社員として入社した当時、右も左も分からず漠然とした不安を抱えていました。そのような中、コプロの営業担当者が、トラスト活動として現場を毎月訪問してくれたことはとても心強かったです。当時の担当者は施工管理の実務



Y.U.さん 26歳 | 配属企業 T社:4年8か月
(2018年4月新卒入社:5年目)

経験者で、志事に関することはもちろん、新生活の相談にも乗ってくれる兄のような存在でした。今期で入社5年目になり、経験もある程度積んできたつもりですが、トラスト活動は今でもありがたいですね。

K.S.さん 24歳 | 配属企業 D社:8か月 S社:1年6か月
(2020年10月中途入社:3年目)



2021年4月に設立したCOPRO VIETNAM CO., LTD.は、本年5月にハノイ工業大学と提携し、7月よりコプロ・スクールを開始しました。



在日のベトナム人は中国人に次いで2番目に多く、47万人(2022年6月)が暮らしています。

ベトナム ハノイってどんなところ?

ベトナム社会主義共和国の人口は9,851万人(2021年)と年々増加しています。また、開発ラッシュにより活気づいており、多くの日系ゼネコンが進出をしています。

首都ハノイは南北に細長いベトナムの北部に位置しており、政治と工業の中心地です。ベトナムの中でも特にハノイは勤勉な人が多いと言われ、日本での就労希望者が多いのも特徴です。



教育理念

信頼される人財になる

コプロ・スクールでの学び

日本での就労を希望する理工学部の学生を対象に、実践型授業を中心としたカリキュラムを無償で提供しています。

当社は技能実習ビザではなく、就労ビザでベトナム人スペシャリストを日本へ受け入れる雇用形態の実現を目指します。将来的には希望者はベトナムへ帰国して、現地の日系ゼネコンでも活躍できる体制構築を検討します。

授業 月曜日から金曜日、8時30分から17時

講義内容 日本語コミュニケーションスキル、ビジネスマナー

ピックアップ授業! 教えない教育

グローバル人財が日本の現場で信頼を勝ち取るためには、日本語習得はもちろん、日本の労働慣習に順応し、自律的に学び続けることが重要です。

ベトナム人の特性を理解した日本人講師が、課題解決思考を育成するため、あえて答えだけを「教えない教育」を実施しています。

どこの国に行っても愛され信頼される人財になってほしいと思い、スクールを運営しています。多くの方々がコプロ・スクールの学生を見て、ベトナムやコプロ・グループのファンになってもらえたら嬉しいです。

COPRO VIETNAM CO., LTD.
取締役 **川島 吉晴**
(2021年5月よりベトナム駐在)



連結業績サマリー

	22/3期 上期実績	23/3期		前期比	予想比
		上期予想	上期実績		
売上高	7,402	8,144	8,670	+17.1%	+6.5%
売上総利益	2,233	2,482	2,583	+15.7%	+4.1%
販売費及び一般管理費	1,601	2,193	2,113	+32.0%	△3.6%
Non-GAAP営業利益	721	427	613	△15.0%	+43.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	328	158	280	△14.6%	+77.2%

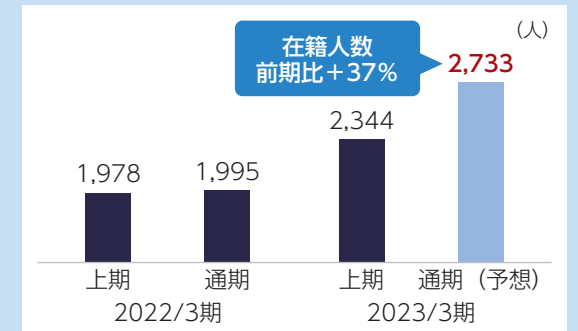
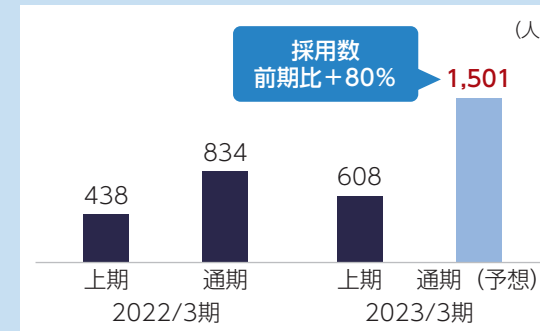
POINT

- ✓ 主にコア事業の建設技術者派遣において、退職数の抑制に加え、採用数が概ね計画通りに進捗したことにより、稼働人数が計画を上回って推移。
- ✓ 結果、売上高・利益ともに予想を上回る。

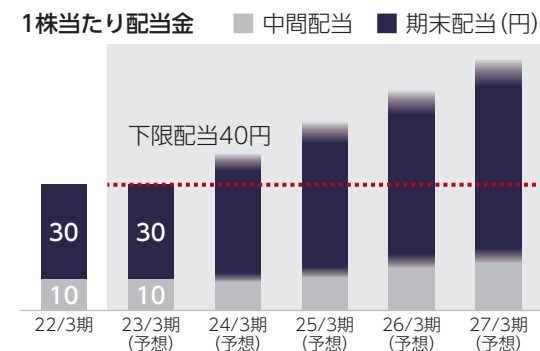
チェック! 「採用数の拡大」

中期経営計画の業績目標達成に向けて、当期は準備期間と位置づけ、採用費の先行投資を実施。優秀な人材の確保を最大テーマに、技術者の採用拡大に取り組んでいます。

上期時点の建設技術者派遣の採用数・在籍人数はともに通期計画に対して順調に推移しています。



株主還元



配当方針

当社の株主還元は配当を基本とし、中期経営計画期間(2023年3月期~2027年3月期)は減配を行わず、安定的な配当を行うことを基本方針とする。

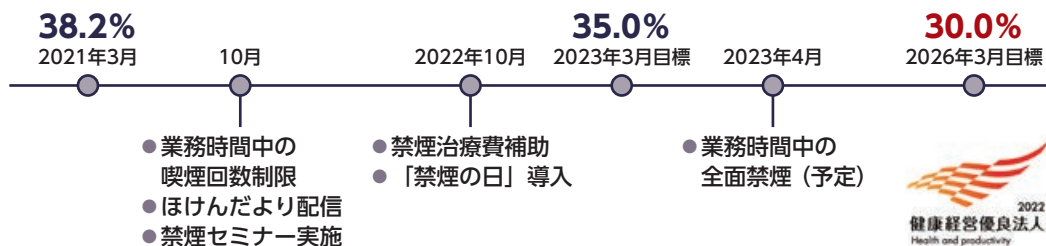
2023年3月期 年間配当 **40.0円** (予想)
中間配当10.0円、期末配当 (予想) 30.0円
配当性向 (予想) 51.1%

ピックアップ ESG 「健康経営の推進」

当グループは、社員一人ひとりの心身の健康増進を経営課題と捉え、経済産業省による認定制度「健康経営優良法人」の中でも大規模法人の上位500社に与えられる「ホワイト500」の認定を2027年3月期までに目指しています。今回は重点課題のひとつである「従業員の喫煙率低下」についてご紹介します。

喫煙率低下に向けた取り組み

成人喫煙率の全国平均16.7%に対して、当社喫煙率は38.2%と2倍以上高く、健康リスクを高める原因となっています。従業員の健康を守るため、当社では喫煙率30%以下を目標に禁煙促進に取り組んでいます。



お笑いコンビ「宮下草薙」を起用したウェブCMを公開中



技術者のリクルートを目的とした当CMでは、草薙さんが業界未経験の派遣施工管理者（現場監督）に扮し、あっという間に一人前に成長するエンジニアを演じています。

とてもユニークな内容に仕上がっていますのでぜひご覧ください。

※ 2023年6月30日まで公開予定



IR最新情報

株主様からのご要望をお受けし「**在籍技術者数・稼働率**」の月次開示を10月から開始しました

開示情報はIRメルマガで配信しています。右の二次元バーコードからご登録いただけます。



【お問い合わせ】

- IR・企業情報に関するご質問
株式会社コプロ・ホールディングス
経営企画室 IR戦略推進課
☎ 0120-253-066（フリーダイヤル）
愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12
大名古屋ビルヂング25階
- 株式取扱い・配当金振込等に関するご質問
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
☎ 0120-232-711（フリーダイヤル）
東京都府中市日鋼町1-1

